

2011年8月号
別冊
発行犬: スヌ校長



平和アピール
1981年
2月25日
広島にて

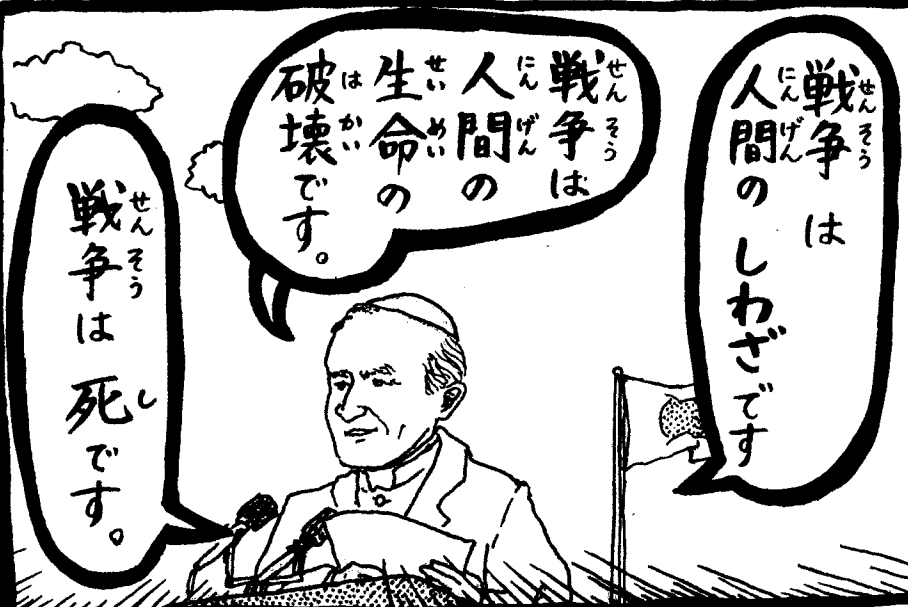
いまから三十年前。
歴代教皇のなかで
初めて日本を訪れた

ヨハネ・パウロ2世は
(ポランド出身)
広島平和記念公園から
全世界に向けて、

平和アピールを発表。
それは過去の非難ではなく、
単なる鎮魂や追悼とも違い、
今を生きる者として

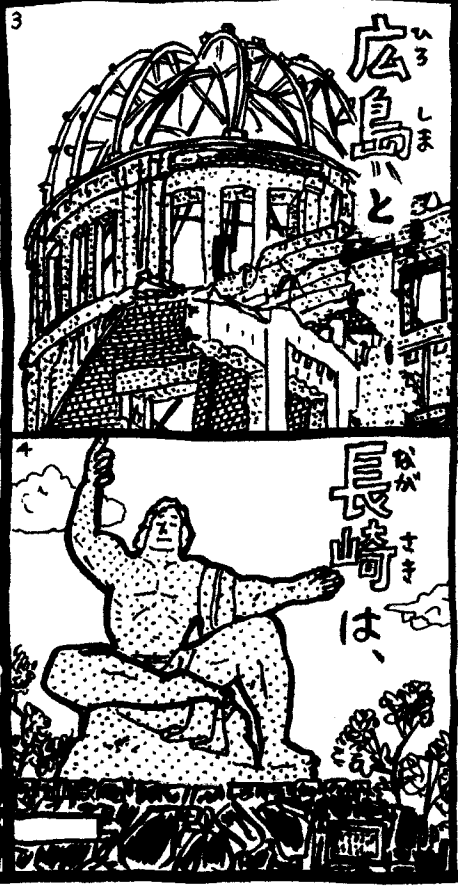
将来に対する責任の自覚を
ひとりとひとりに呼びかけるものでした。
国際情勢が変わっても、なお、
この『平和アピール』のもつ
重要性は変わりません。

広島市の平和記念公園に集まった2万5千人の大群衆を前に
演壇に立った教皇ヨハネ・パウロ2世は、まず日本語で語り始めました。



※平和アピール本文は、カトリック中央協議会のウェブサイトで公開されているものを使用しました。

この広島市の町、この平和記念堂ほど強烈に
この真理を世界に訴えている場所は
ほかにありません。
もはや切っても切れない対峙をなしている
2つの町



人間は信じられないほどの破壊ができる
ということの証しとして、存在する悲運を担った
世界に類のない町です。
この2つの町は、
戦争こそ、平和な世界をつくらうとする人間の努力を
いっさい無にする」と、将来の世代に向かって
警告しつづける、現代にまたとない町として
永久にその名をとどめることでしょう。

ここからスピーチは英語になる


Mr. Mayor, dear friends here present, and all of you who are listening to my voice, and whom my message will reach

広島市長
はじめ
ここに
集まられた
友人の皆さん
私の声に耳を
傾けているすべての
かたがた、
私のメッセージが届く
すべてのかたがたに申します。

1 本日、わたしは
深い気持ちに駆られ、
平和の巡礼者
として、この地にまいる
非常に感動を覚えて
います。

わたしがこの
平和記念公園への
訪問を希望したのは

過去をふり返ることは
将来に対する責任を担うことだ、
という強い確信を持っているからです。



To remember the past is to commit oneself to the future.

この地上の
ありとあらゆるところに、
戦争のもたらした
惨事と苦しみのゆえに、
その名の知られている場所が、
数多く、あまりにも数多く、
存在しています。




戦勝記念碑
それは一方の側の
勝利の碑であると同時に、
数多くの人の苦しみと
死を物語るものです。

国のために
命を落とした人々、
崇高な目的に
命をささげた人々が
横たわる墓地があります。

同時に、
戦争のもたらす
破壊の嵐の中で
命を失った、
罪のない一般の人々が
横たわる墓地も
あります。

強制収容所や死体処理場の跡
人間と侵すべからざる人権とが
いやしめられ、
野卑と残酷とが
最も強く表されたところでした。

戦場
そこでは、
自然が慈悲深く
地上の傷を
いやしています、
人間の
憎悪と敵意の歴史を
消し去ることは
できません。



こもれた数多くの場所や記念碑の中でも、特に広島、長崎は、核戦争の最初の被災地としてその名を知られています。

あの陰惨な一瞬に、生命を奪われた、数多くの男女や子供たちのことを考えると、私は頭をたれざるをえません。

また、身体と精神に死の種を宿しながら、長い間、生き延び、ついに破滅へと向った人々のことを、思い、うとくにも、同様の気持ちに打たれるのであります。

この地で始まった人間の苦しみは、まだ終わっていません。

人間として失ったもの全部、数え尽くされたわけでは、ありません。

人間の考えや、ものの見方、ないし人間の文明に対して、核戦争がもたらした実害を、目にあたりにし、将来の危険性を考えるとき、特にそうした相思いに、駆られるのであります。

△被爆マリア像(長崎)
△倒壊した浦上天王堂(長崎)

賢明にも、平和の記念碑とされました。

わたしは、この英断に敬意を表し、その考えに賛同します。

この広島での、できごとの中から、戦争に反対する新たな世界的な意識が生まれました。

平和への努力へ向けて、新たな決意がなされました。

平和記念碑を造るにより、広島市と日本国民は、自分たちは平和な世界を希求し、人間は戦争もできるが、平和を打ち立てることもできるのだ、という信念を、力強く表明しました。

広島市の皆さんは、最初の原子爆弾投下の記念碑を、

2

過去をふり返ることは、将来に対する責任を担うことです。

Rappeler le passé c'est s'engager dans le futur.

フランス語になら

核戦争の恐怖と、
その陰惨な結末
については、
考えたくない
という人が
います。



当地でのできごとを
体験しつつも、
よく生かしてこられた
人々の中にさえ、
その考えも
人がいます。

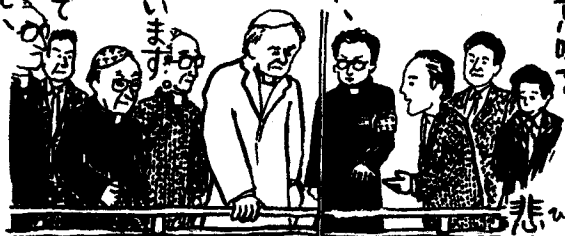
戦争と核兵器の脅威にさらされながら、
それを防ぐための、
各国家の果たすべき役割
個人々の役割を
考えないで、
すますことは
許されません。



また、国家が武器を取って
戦い合うというのを、
実際に経験したことの
ない人々の中には、
核戦争は
起りえないと
考えたがる
人もいます。

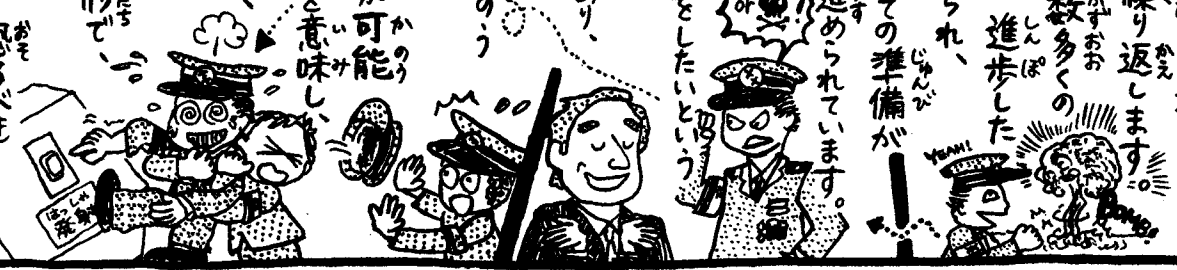


全面的な核戦争の結果が
いかなるものであるか、
想像だにできませんが、
その結果、
人類の滅亡が
現実のものとなる
ことが考えられます。



過去をふり返ることは、
将来に対する責任を担うことです。
1945年8月6日のことも
ここで語るのには、
われわれがいただく
現代の課題の意味を、
よりよく理解
したいからです。
核兵器の
使われたとしても
戦争は
悲惨なものとなり
核兵器の
一部だけが
使われたとしても
戦争は
悲惨なものとなり
Acordarse del pasado
es comprometerse
para el futuro.

わたしが国連総会で述べたこと、
ここに再び繰り返します。
各国で、数多くの
より強力で進歩した
兵器が造られ、
戦争へ向けての準備が
絶え間なく進められています。
それは、
戦争の準備をしたという
意欲がある。
準備がととのう
ということは
戦争開始が可能
だということの意味し、
ナラにそれは、
あるとき、
どこかで、
なんらかの形で、
だれかが
世界破壊の恐ろげな
メカニズムを起動させるという
危険を冒すということなのです。



4

この日からスローキは、ネットが英語になる

過去をふり返ることは、
将来に対する責任を担うことです。



Recordar o passado é comprometer-se pelo futuro.

広島を考えることは、
核戦争を拒否

平和に対しての
責任をとることは、

この町の人の
苦しみを
思い返すことは、

人間への信頼の回復、
人間の善の行為の能力、
人間の正義に関する

自由な選択、

廃墟を新たな出発点に
転換する人間の決意を
信じることにつながります。



戦争という
人間がつくり出す
災害の前で、
戦争は不可避なものでも
必然でもない
われわれは
みずからに
言い聞かせ、
繰り返し
考えて
ゆかねば
なりません。
人類は、
自己破壊という
運命のもとに
あるのではありません。
イデオロギー
国家目的の差や、
求めるものの違いは、
戦争や暴力行為の
ほかの手段をもって
解決されはなりません。

人類は、紛争や対立を平和手段で解決するにふさわしい存在です。

文化、社会、経済、政治の面
さまざまな発展段階にある
諸国は、
多種多様な問題をかかえており
そのために、
国家間の緊張や対立が
生じています。
こうした問題は、
国家間の正当な
協定や、
国際機関のよって立つ
平等と正義という
倫理原則に添って、
解決されねば
なりません。
それは、人類にとって
肝要なことです。
国内秩序を守るために
法が制定されるように、
世界の国々には、
国際関係を円滑にし、
平和を維持するための
法制度が作り上げられ
なくてはなりません。



5

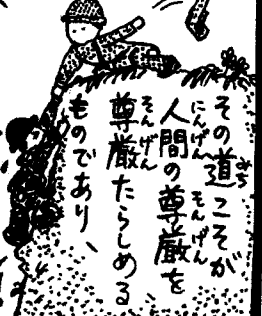
この日からスローキは、ネットが英語になる

この地上の生命を尊ぶ者は、
政府や、経済・社会の指導者たちが
下す各種の決定が、
自己の利益という
狭い観点からではなく、
平和のために何が必要かが
考慮してなされるよう、
要請しなくてはなりません。

目標は、常に
平和は、常に
すべからず
さしおいて、
平和が追求され
平和が保持され
ねばなりません。



過去の過ち、
暴力と破壊に満ちた
過去の過ちを、
繰り返してはなりません。
険しく困難ではありますが、
平和への道を
歩もうではありませんか。
その道こそが
人間の尊厳を
尊厳たらしめる
ものであり、
人間の運命を
全うさせる
ものであります。



現実の道とする
平等、正義、隣人愛を
遠くまで運ぶ
のです。

6



HIROSHIMA 8:15AM Aug 6 1945

35年前、すまじぶこの場所、
数多くの人々の生命が、一瞬のうちに
奪い去られました。

※当時は
ドイツ語で
話す予定
だったが、
教皇の強い
希望で
この部分のみ
中国語に
して語られた

そこで、わたしはこの地で、
「人間性のため、全世界に向けて生命のためのアピール」を、
人類の将来のためのアピールを出したいと考えます。



各国の元首、政府首脳、
政治・経済上の指導者に次のように申します。

正義のもとでの平和を誓おうではありませんか。

今、この時点で、紛争解決の手段としての戦争は、
許されるべきではない、という

かたい決意をしようではありませんか。

人類同胞に向って、軍備縮小と
すべての核兵器の破棄とを
約束しようではありませんか。

暴力と憎しみにかえて、
信頼と思いやりを
持とうではありませんか。

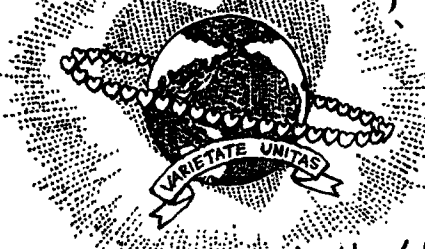


この国のすべての男女、
全世界のすべての人々に
次のように申します。

国境や社会階級を越えて
お互いのことを思いやり、
将来を考えようでは
ありませんか。

平和達成のために、
みずからを啓蒙し、
他人を啓蒙しようでは
ありませんか。

不正の支配するところには
正義をもちだし、
武器の支配するところには
平和をもちようでは
ありませんか。



相対立する社会体制のもとで
人間性が犠牲になることが
けっしてないようには
しようでは
ありませんか。

再び戦争のないように
力を尽くそうでは
ありませんか。

全世界の若者たちに、
次のように申します。

ともに手をとり合って、
友情と団結のある未来を
つくろうでは
ありませんか。

窮乏の中にある兄弟姉妹に
手をさし伸べ、
空腹に苦しむ者に食物を与え、
家のない者に宿を与え、
踏みじられた者を自由にし、

あなたがたの若い精神は、
善と愛を行なう
大きな力を持っています。
人類同胞のために、
その精神をつかいなさい。

あなたがたの若い精神は、
善と愛を行なう
大きな力を持っています。
人類同胞のために、
その精神をつかいなさい。

あなたがたの若い精神は、
善と愛を行なう
大きな力を持っています。
人類同胞のために、
その精神をつかいなさい。

あなたがたの若い精神は、
善と愛を行なう
大きな力を持っています。
人類同胞のために、
その精神をつかいなさい。

すべての人々に、
私はここで預言者の言葉を繰り返します。
彼らはその剣を鋤に打ちかえ、
その槍を鎌に打ちかえる。
国は国に向かい、剣を上げず、
戦闘のことを再び学ばない」
(イザヤ2・4)



むすびに 教皇は日本語で次のように祈られた。

最後に、わたしは 自然と人間、真理と美の 創り主である神に 祈ります。

神よ、わたしの声を聞いてください。
それは、個人の間に、または国家の間でなされたすべての戦争と暴力の犠牲者たちの声だからです。

神よ、わたしの声を聞いてください。
それは、武器と戦争に信頼をおくとき、いのちの一番に犠牲者として苦しむ、また苦しむであろうすべての子供たちの声だからです。

神よ、わたしの声を聞いてください。
わたしは、主がすべての人間の心の中に平和の知恵と正義の力と兄弟愛の喜びを注いでくださるよう祈ります。

神よ、わたしの声を聞いてください。
わたしはすべての国、またすべての時代において戦争を望まず、常に喜んで平和の道を歩む無数の人々にかわって、話しているからです。

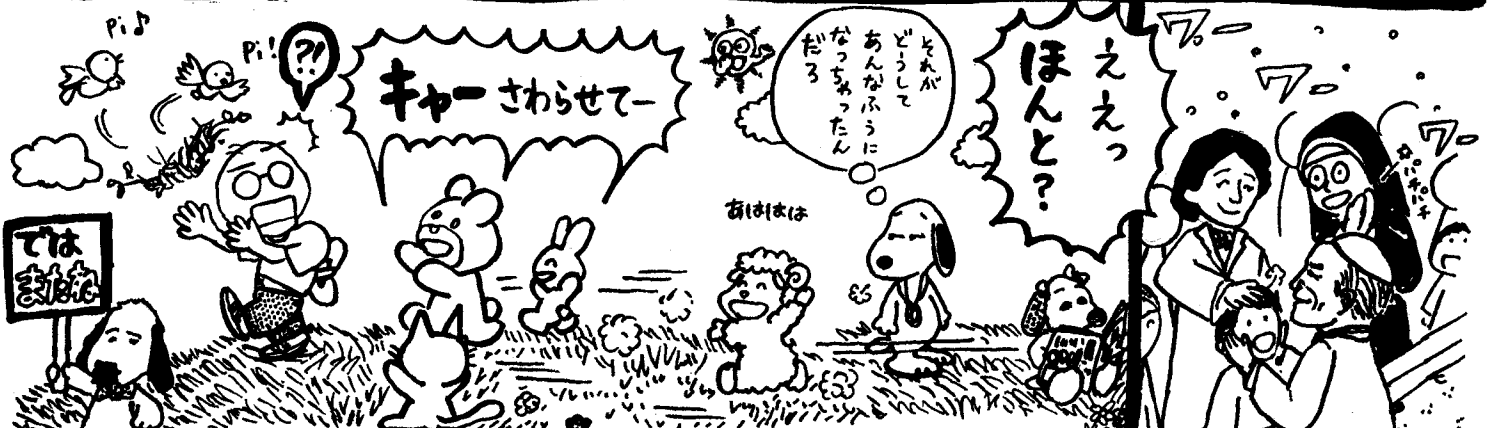
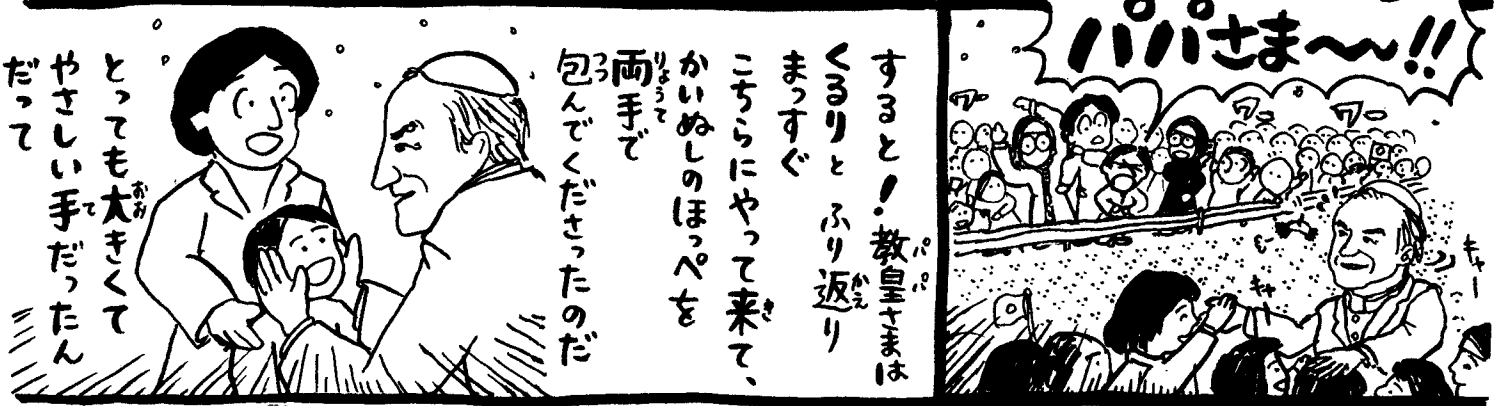
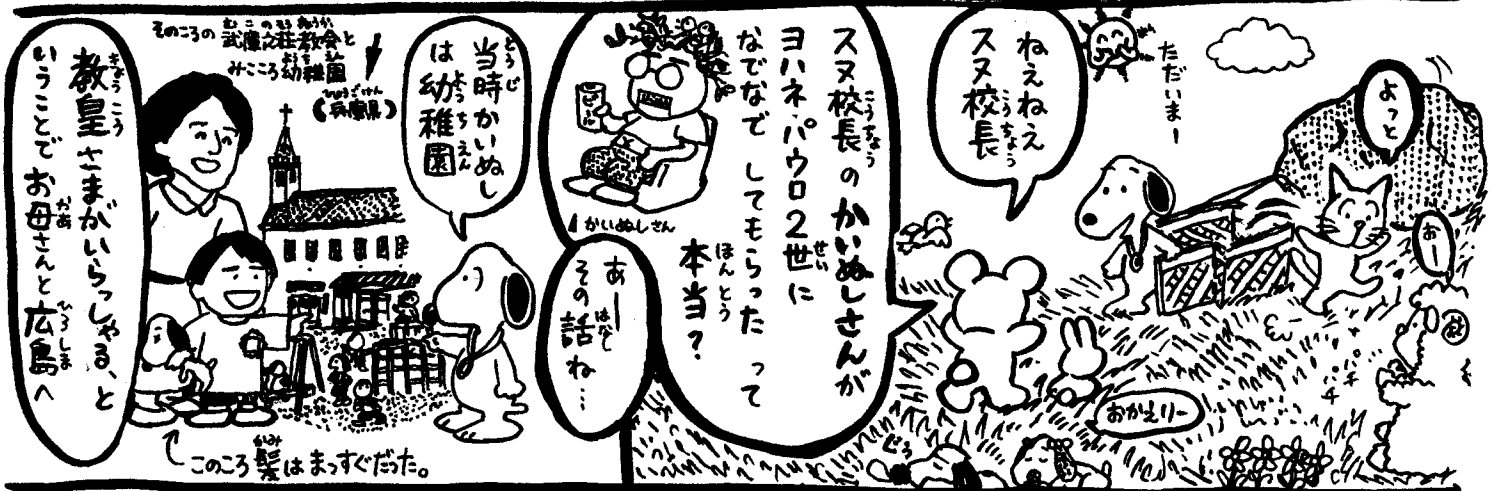
神よ、わたしの声を聞いてください。
わたしは愛、憎しみには正義への全き献身、貧困には自分を分かち合い、戦争には平和をもってこたえることが出来るよう、
英知と勇気を
お与えください。

おお、神よ、わたしの声を聞いてください。
そして、この世に あなたの終わらぬ平和をお与えください。

一九八二年二月二十五日
広島にて

神を信じる人々に申します。
われわれの力をはるかに超える神の力によって
勇気を持つとうでは ありませんか。
神が われわれの一致を望まれていることを知って、
田結しようでは ありませんか。
愛を持ち 自己を与えることは、あなたの理想ではなく、
永遠の平和、神の平和への道だということに
目覚めようでは ありませんか。





おきくほまゆかい
カトリック荻窪教会
 主任司祭 岸忠雄神父
 主日のミサ... 7:30~/10:00~
 きょうかいがっこう... 毎月第1・第2・第3日曜の10時のミサ終了後
<http://www.kotonanoki.com/>
 〒168-0072 杉並区高井戸東4-18-13
 もしもし 03-3334-8216 (FAXは-8261)

かいめしはこのとき幼稚園をおやすみして
 広島にきたんだけど、園長先生のミサの
 はかについて 出席扱いに◎ 百歩かきと幸園寺